

4. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成 23 年 6 月)

建設業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は-16、今回調査の「最近」は-15、「先行き」は-14となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、1ポイント改善しており、「先行き」は1ポイント改善となる見込み。

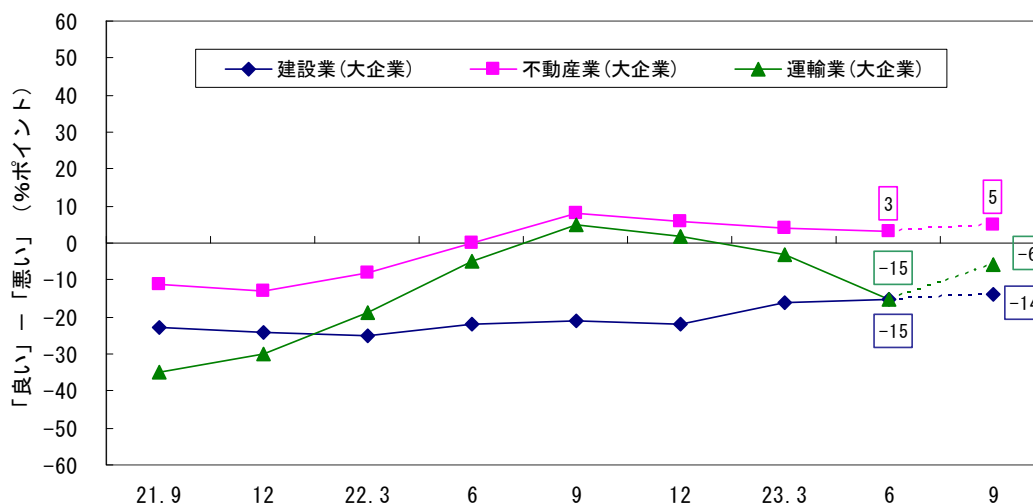
不動産業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は4、今回調査の「最近」は3、「先行き」は5となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、1ポイント悪化しており、「先行き」は2ポイント改善となる見込み。

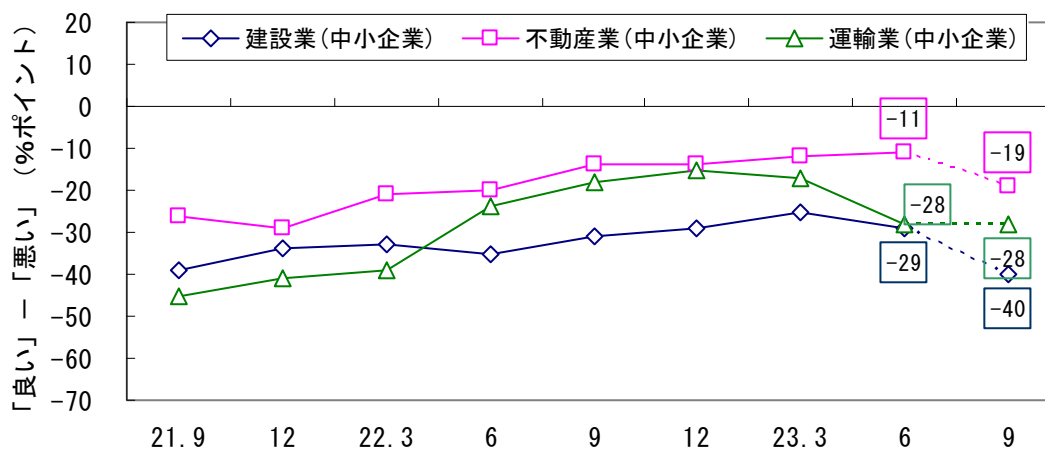
運輸業(大企業)の業況判断DI(「良い」-「悪い」)

- 前回3月調査の「最近」は-3、今回調査の「最近」は-15、「先行き」は-6となった。
- 前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると、12ポイント悪化しており、「先行き」は9ポイント改善となる見込み。

各業種の業況判断DI(大企業)



各業種の業況判断DI(中小企業)



(2) 雇用情勢

① 就業者数等 (5月調査・確報)

建設業就業者数は482万人で、前年同月比3.7%増加であった。雇用者数は395万人で同5.6%増加、うち常雇は同6.1%増加、臨時雇は同6.3%増加、日雇は同6.7%減少となった。

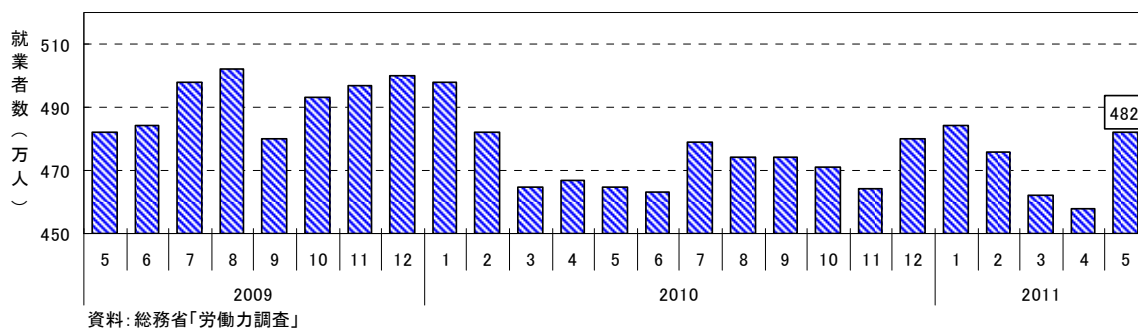
運輸業就業者数は319万人で、前年同月比1.9%増加、雇用者数は304万人で同1.7%増加となった(※就業者数等は、それぞれ岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の値)。

② 労働の状況 (4月調査・確報)

建設業(常用労働者5人以上の事業所)の賃金指数(きまって支給する給与。以下同じ。)は前年同月比0.1%減少(10ヶ月ぶり)、総実労働時間指数は0.3%減少(4ヶ月連続)、所定外労働時間指数は3.4%減少(3ヶ月連続)となった。

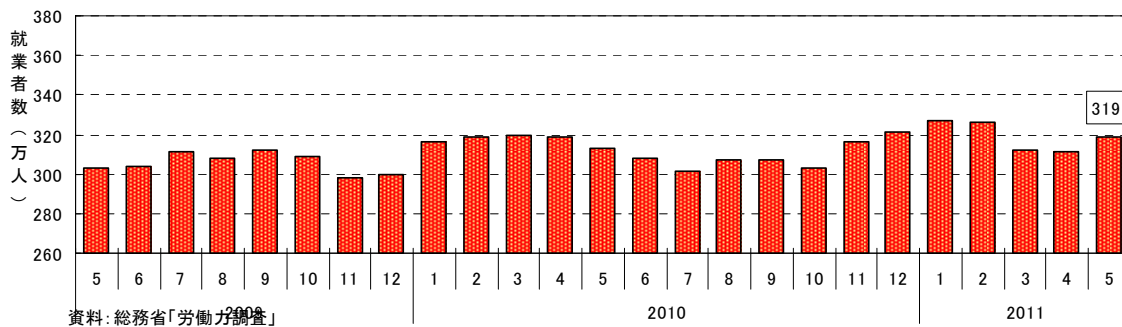
運輸業・郵便業(常用労働者5人以上の事業所)の賃金指数は前年同月比0.2%増加(7ヶ月連続)、総実労働時間指数は同増減なし、所定外労働時間指数は同0.8%増加(20ヶ月連続)となった。

建設業就業者数の推移



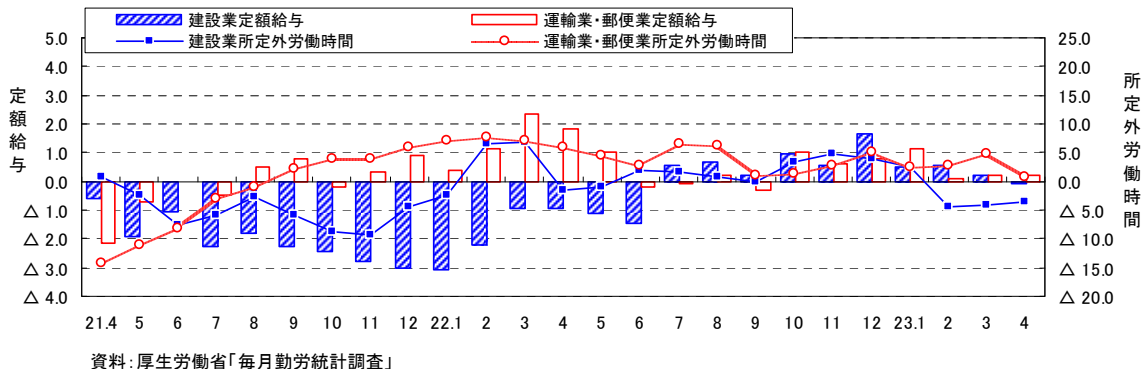
※岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の値

運輸業就業者数の推移



※岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の値

労働の状況(前年同月比・%)

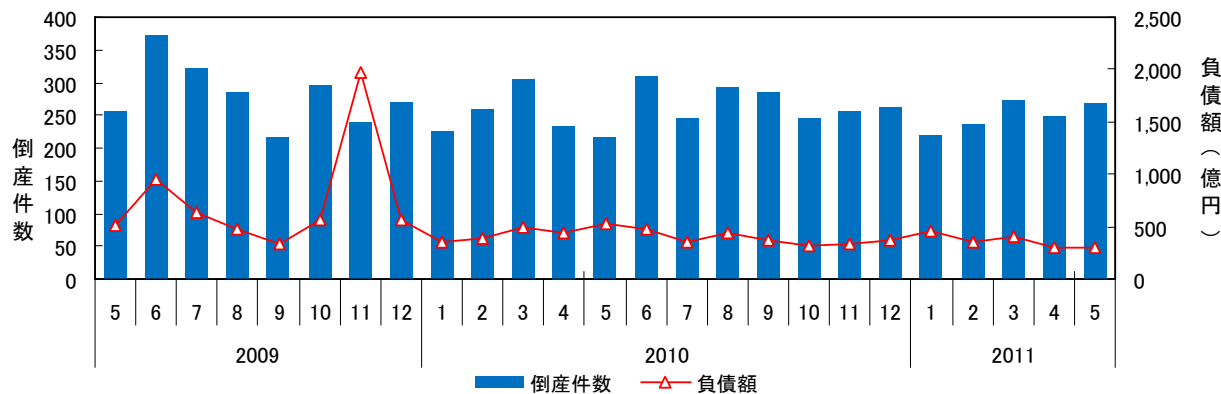


(3) 倒産

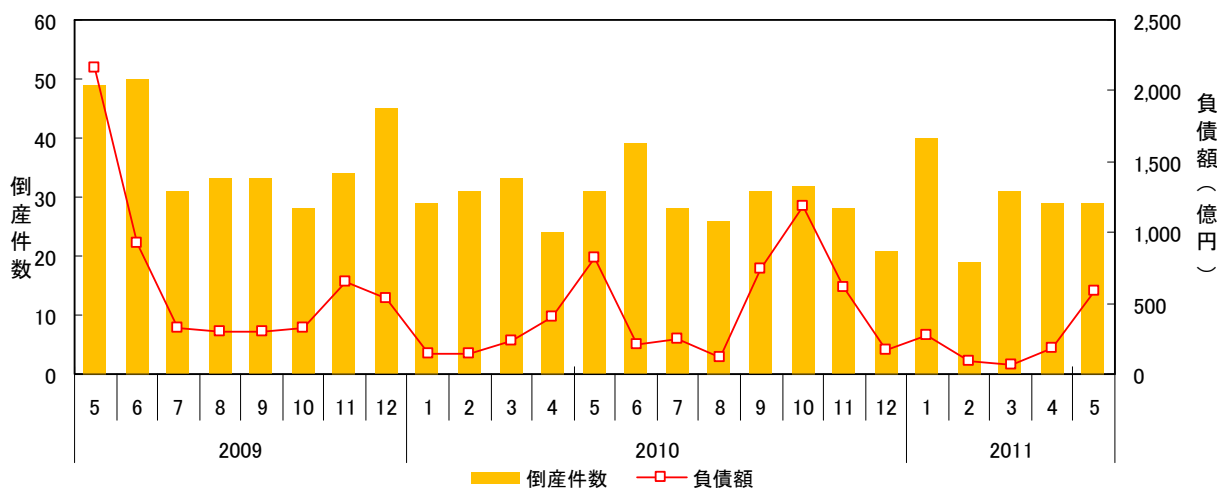
5月の全産業の倒産件数は964件で、前月比0.8%増加（前年同月比9.7%増加）となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は267件、不動産業の倒産件数は29件、運輸業の倒産件数は34件であった。

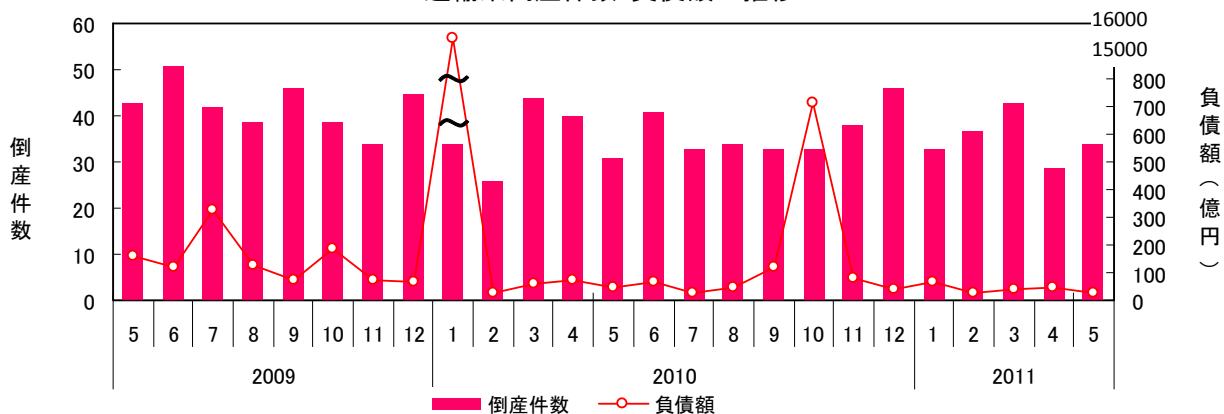
建設業倒産件数・負債額の推移



不動産業倒産件数・負債額の推移



運輸業倒産件数・負債額の推移



資料：帝国データバンク「全国企業倒産集計」

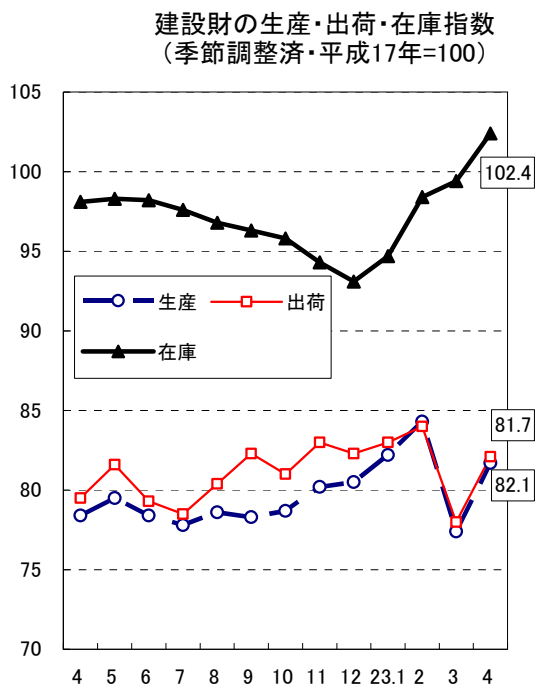
(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数（4月確報、季調済）は81.7（平成17年=100）で前月比5.6%増加（2ヶ月ぶり）、出荷指数は82.1で前月比5.3%増加（2ヶ月ぶり）、在庫指数は102.4で3.0%増加（4ヶ月連続）となった。

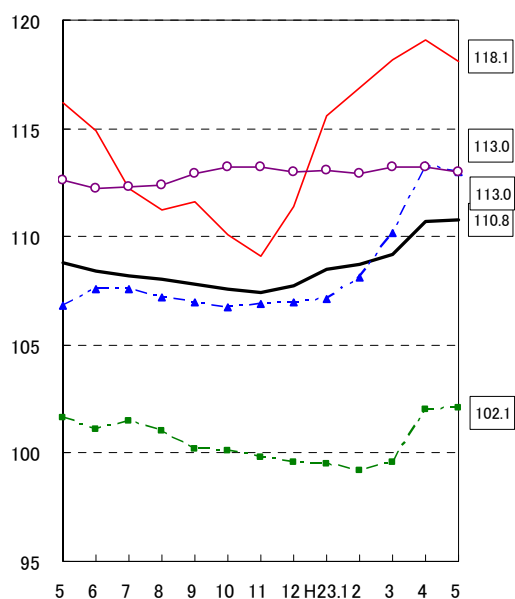
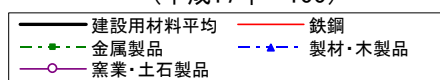
建設用材料（中間財）の企業物価指数（5月速報）は110.8（平成17年=100）で、前月比0.1%増加した。

建設財の生産・出荷・在庫 (季節調整済前月比・%)			生産	出荷	在庫
建設財			5.6	5.3	3.0
4月 確報 値	鉄鋼		6.0	3.9	5.2
	金属製品	▲2.5	0.7	2.3	
	窯業・土石製品		8.9	6.7	2.9
	その他工業		11.1	9.7	5.1
建設財 (前年同月比)			4.2	3.3	4.4
(参考) 鉱工業			1.6	▲2.6	0.5
(参考) 鉱工業 (前年同月比)			▲12.3	▲14.9	3.4

資料: 経済産業省「生産・出荷・在庫指数」
注) その他工業とは、繊維板・パーティクルボード、製材、普通合板、特殊合板、システムキッチン、流し・ガス・調理台を指す。



中間財 建設用材料 企業物価指数
(平成17年=100)



資料: 日本銀行「企業物価指数」

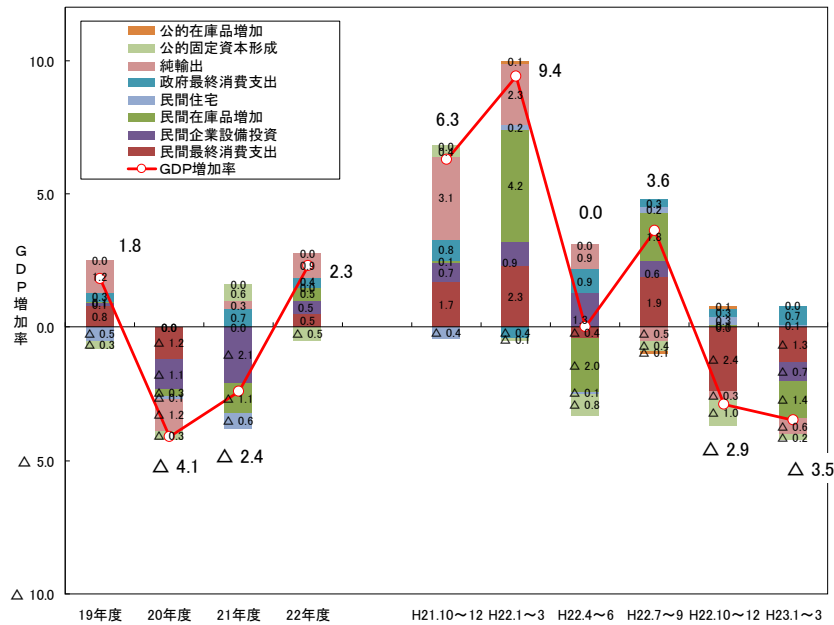
(5) 一般経済指標の概況

主要経済指標

	実質消費支出	(大型小売店販売額)	(資本財出荷機械)	(船舶・電力を除く民需)	(輸送額)	(輸送額)	生産工業	企業倒産件数	完全失業率	有効求人倍率	(きまって支給する給与)	物価指数	日経平均	(マネーストック)	東名高速道路全線平均	
	(季)前期比	前年同期比	(季)前期比	(季)前期比	前年同期比	前年同期比	(季)前期比	前年同期比	(季・%)	(季・倍)	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
2007年度	0.8	▲1.0	1.2	▲3.8	9.9	9.5	2.7	18.4	3.8	1.0	▲0.3	2.3	12525.0	1.9	▲0.1	
2008年度	▲2.9	▲4.2	▲17.6	▲13.1	▲16.4	▲4.1	▲12.7	16.8	4.1	0.8	▲0.9	3.1	8109.0	2.1	▲7.5	
2009年度	1.1	▲6.4	▲24.3	▲20.4	▲17.1	▲25.2	▲8.8	▲2.8	5.2	0.5	▲1.5	▲5.3	9958.0	2.9	▲6.7	
2010年4月	▲5.9	▲3.7	1.4	5.4	40.4	24.5	0.6	▲17.7	5.1	0.5	0.6	▲0.2	▲1.5	11057.0	2.9	11.3
5	0.4	▲3.9	▲3.0	▲7.2	32.1	33.7	▲0.1	▲16.8	5.1	0.5	0.5	0.4	▲1.2	9768.7	3.1	8.7
6	2.2	▲3.1	6.6	1.4	27.7	26.5	▲1.5	▲16.2	5.2	0.5	0.5	0.4	▲1.0	9382.6	2.9	10.2
7	▲0.3	▲1.3	1.0	4.1	23.5	16.1	0.3	▲23.8	5.1	0.5	0.5	▲0.2	▲1.1	9537.3	2.7	8.6
8	0.5	▲1.8	▲1.0	12.8	15.5	18.4	▲0.1	▲7.5	5.0	0.5	0.4	0.0	▲1.0	8824.1	2.8	14.7
9	▲0.4	▲1.7	1.6	▲14.5	14.3	10.3	▲0.8	▲0.3	5.0	0.6	0.6	▲0.2	▲1.1	9369.4	2.8	7.3
10	▲0.8	0.4	1.1	0.8	7.8	8.9	▲1.4	▲10.3	5.1	0.6	0.5	0.9	▲0.6	9202.5	2.8	▲1.7
11	0.2	0.1	▲1.3	2.8	9.1	14.3	1.6	▲6.5	5.1	0.6	0.3	0.9	▲0.5	9937.0	2.6	5.6
12	▲2.4	▲1.7	0.8	▲1.3	12.9	10.7	2.4	▲7.1	4.9	0.6	0.5	1.2	▲0.4	10671.6	2.3	5.4
2011年1月	1.0	▲0.7	▲3.0	4.0	1.4	12.2	0.0	2.8	4.9	0.6	▲0.2	1.6	▲0.2	10237.9	2.3	3.0
2月	▲0.2	0.5	8.2	1.7	9.0	10.0	1.8	▲8.5	4.6	0.6	▲0.1	1.7	▲0.3	10624.1	2.4	5.2
3月	▲2.3	▲7.5	▲13.9	1.0	▲2.3	12.0	▲15.5	▲9.3	4.6	0.6	▲0.6	2.0	▲0.1	9755.1	2.6	▲0.7
4月	0.2	▲1.9	8.0	▲3.3	▲12.4	9.0	1.6	▲0.6	4.7	0.6	▲0.8	2.5	0.6	9849.7	2.7	▲1.1

注) Pは速報値(輸出及び輸入については、イタリック体は確報値、それ以外の数値は確定値)。
 資料: 総務省「家計調査」「労働力調査」「消費者物価指数」、経済産業省「商業販売統計」「生産・出荷・在庫指数」、内閣府「機械受注統計」、財務省「貿易統計」、帝国データバンク「全国企業倒産統計」、厚生労働省「職業安定業務統計」「毎月勤労統計調査」、日本銀行「企業物価指数」「マネーストック」、日本経済新聞、中日本高速道路(株)

GDP増加率と寄与度(前期比、実質)



資料: 内閣府「四半期別GDP速報」

注) 項目別の寄与度には、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成のほかに、民間最終消費支出、民間在庫増加、政府最終消費支出、

公的在庫増加、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増加率となる。

注) 四半期別のデータは年率換算値